

Physiology Special Class

Basic Core Subjects
Elective 2 credit

KOBAYASHI, Tsuneyuki

No localized syllabus found / Showing original

1. Course Description

この授業ではDP3に関する知識の習得を目指し、運動に関連した生理学全般を学習します。

2. Course Objectives

生理学特論の授業は、学生が学部段階で生理学全般については既に学んでいることを前提に行われます。生理学特論では柔道整復師にとって特に重要な運動器および運動に関連した生理学を学習します。すなわち、運動に際して生じる筋肉でのエネルギー代謝、運動による呼吸、循環、体温、体液の変化を総合的に学び、運動によって生じる生体内変化の諸相を理解します。また、運動に際しても自律神経系と内分泌系による全身性の統合機能によって生体が全一的に活動することを理解し、フィードバック制御によるホメオスタシスの維持機構について学習します。

3. Grading Policy

適宜レポートを提出してもらい、それを元に成績評価します。

4. Textbook and Reference

Textbook

特に指定しません。

5. Requirements(Assignments)

必要に応じてプリントを配布して授業を進めます。

6. Note

7. Schedule

- [1] 授業の進め方(ガイダンス)
- [2] 運動とエネルギー代謝1(筋におけるエネルギー発生と消費)
- [3] 運動とエネルギー代謝2(中枢による調節機構)
- [4] 呼吸の調節1(神経性呼吸調節)
- [5] 呼吸の調節2(呼吸の化学調節と換気)
- [6] 心臓・循環の調節1(中枢性調節機構)
- [7] 心臓・循環の調節2(内分泌性調節機構)
- [8] 体温の調節1(自律性および行動性体温調節反応)
- [9] 体温の調節2(温度適応と発熱の病態生理)
- [10] 体液の調節1(酸塩基平衡の調節)
- [11] 体液の調節2(酸塩基平衡障害の基本とその異常)
- [12] 自律神経系による調節
- [13] 内分泌系による調節
- [14] ホメオスタシスとフィードバック(全体のまとめ)
- [15] レジュメの完成